

# CASBEE®-建築(新築)

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	[仮称]三反田PJ 新築工事	階数	地上8F
建設地	尼崎市三反田町三丁目95番1	構造	RC造
用途地域	準工業地域、準防火地域	平均居住人員	94 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	飲食店、病院、集合住宅、	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年4月 予定	評価の実施日	2021年11月9日
敷地面積	3,444 m <sup>2</sup>	作成者	株式会社K. 設計 井上晶規
建築面積	1,649 m <sup>2</sup>	確認日	2021年11月9日
延床面積	6,301 m <sup>2</sup>	確認者	株式会社K. 設計 橋田典博



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.0** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

★☆☆☆☆

標準計算

①参照値	0	100%
②建築物の取組み	46	108%
③上記+②以外の	92	108%
④上記+	138	108%

(kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 3.4**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.2

音環境	3.0
温熱環境	2.7
光・視環境	3.2
空気質環境	4.0

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.5

機能性	4.0
耐用性	3.2
対応性	3.1

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 3.5

生物環境	2.0
まちなみ	5.0
地域性・	3.0

**LR のスコア = 2.7**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 2.0

建物外皮の	3.0
自然エネ	2.2
設備システ	1.2
効率的	3.0

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.7

水資源	3.4
非再生材料の	3.6
汚染物質	4.3

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 2.6

地球温暖化	2.3
地域環境	2.6
周辺環境	3.1

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
周辺のまちなみにとけこみ、日々豊かな生活が送れるマンションとなるよう、設計を行っています。	特になし。	
<b>Q1 室内環境</b> 居室には自然換気が行えるように、十分な開口部を設けています。内装材はF☆☆☆☆を全面的に採用し、VOC対策を行っています。	<b>Q2 サービス性能</b> 建物内は全て床の段差を無しとしバリアフリーとし、各居室に大きな開口部を設け開放感ある住戸となっています。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 敷地内に緑地を設け、建物本体も和風を基調とし落ち着いた色合い・形状を演出をしています。
<b>LR1 エネルギー</b> 屋根に外断熱工法、外壁廻りに発泡ウレタン断熱材を使用し熱負荷の抑制を計っています。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 断熱材はノンフロン材を採用し、リサイクル材を積極的に使用しています。再利用可能性向上な工法(LG下地+PB、外壁面壁GL工法、O Aフロア)	<b>LR3 敷地外環境</b> 雨水枦を浸透枦とし雨水排水負荷の低減をさせています。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される